
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 8月9日～8月15日

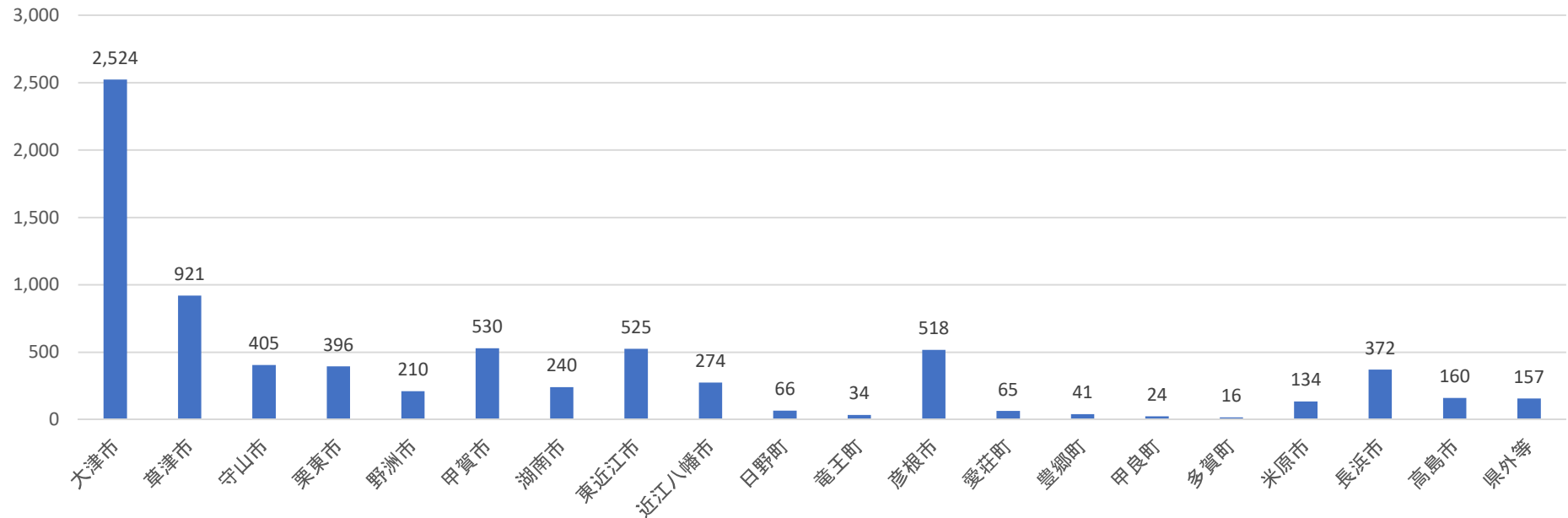
8月17日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(8/9～8/15)	934人
累計(8/15時点)	7612人

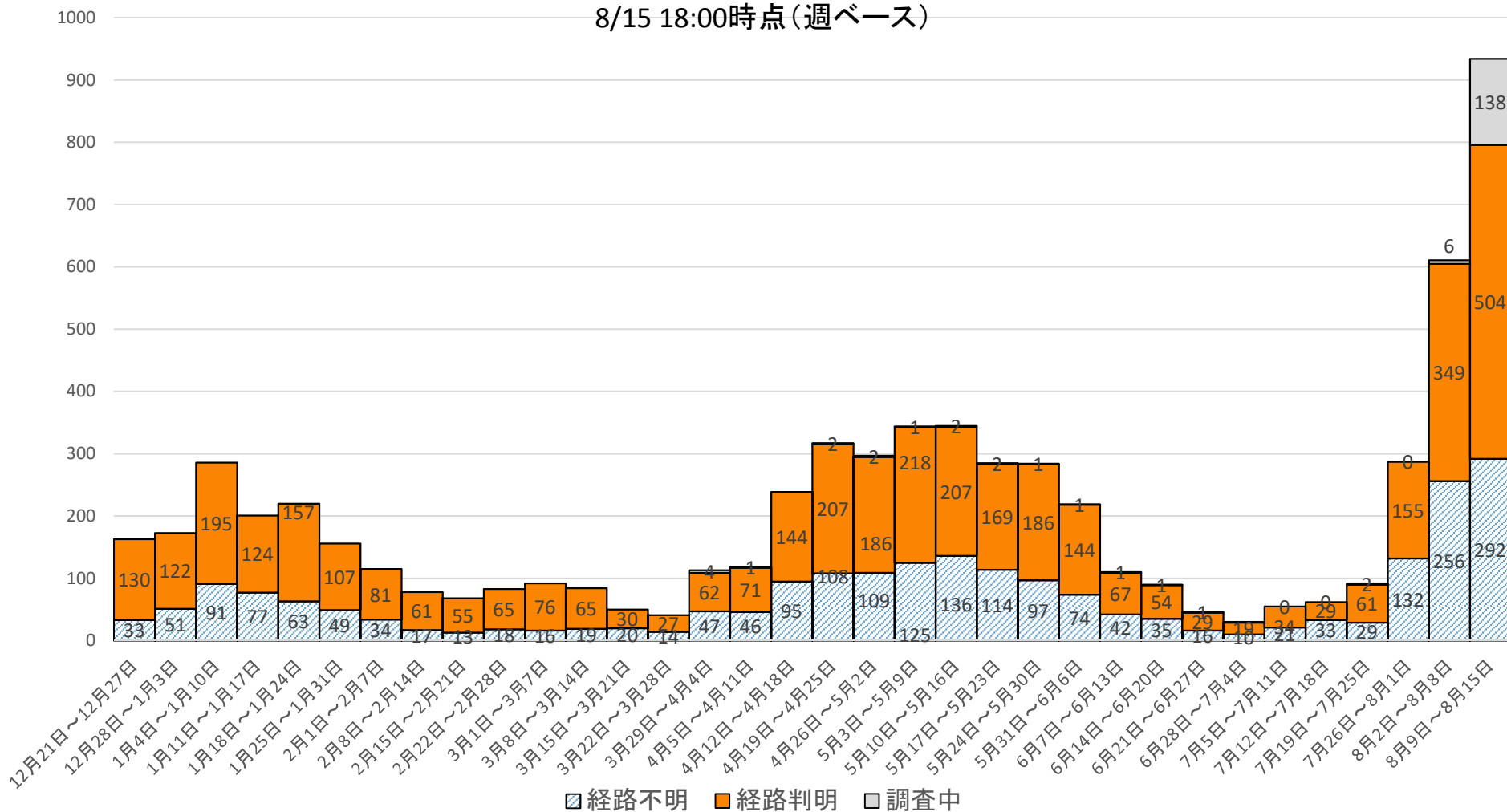
2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

① 流行曲線(公表日別)(8月15日現在)

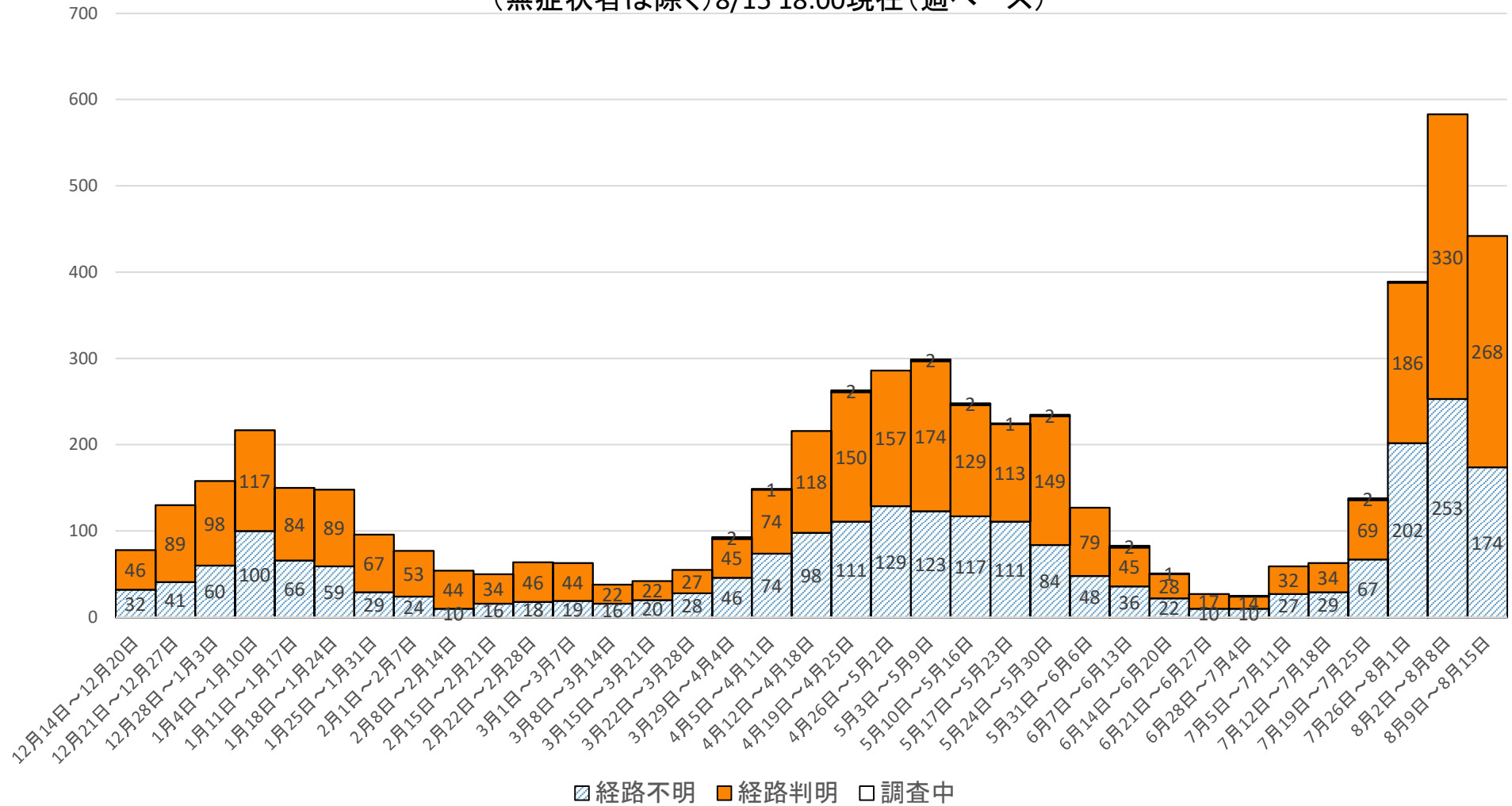
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
8/15 18:00時点(週ベース)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

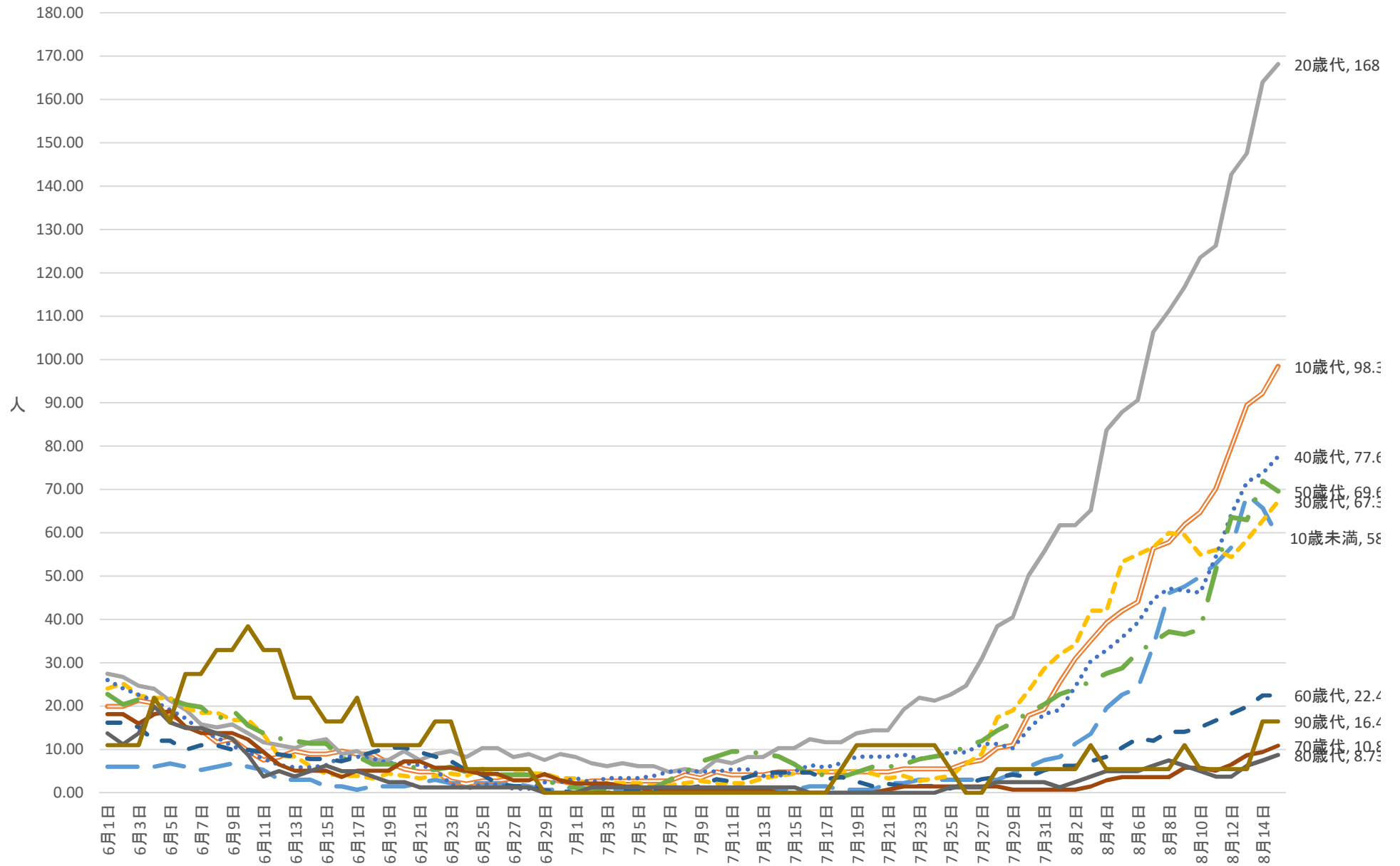
②流行曲線(発症日別)(8月15日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)8/15 18:00現在(週ベース)



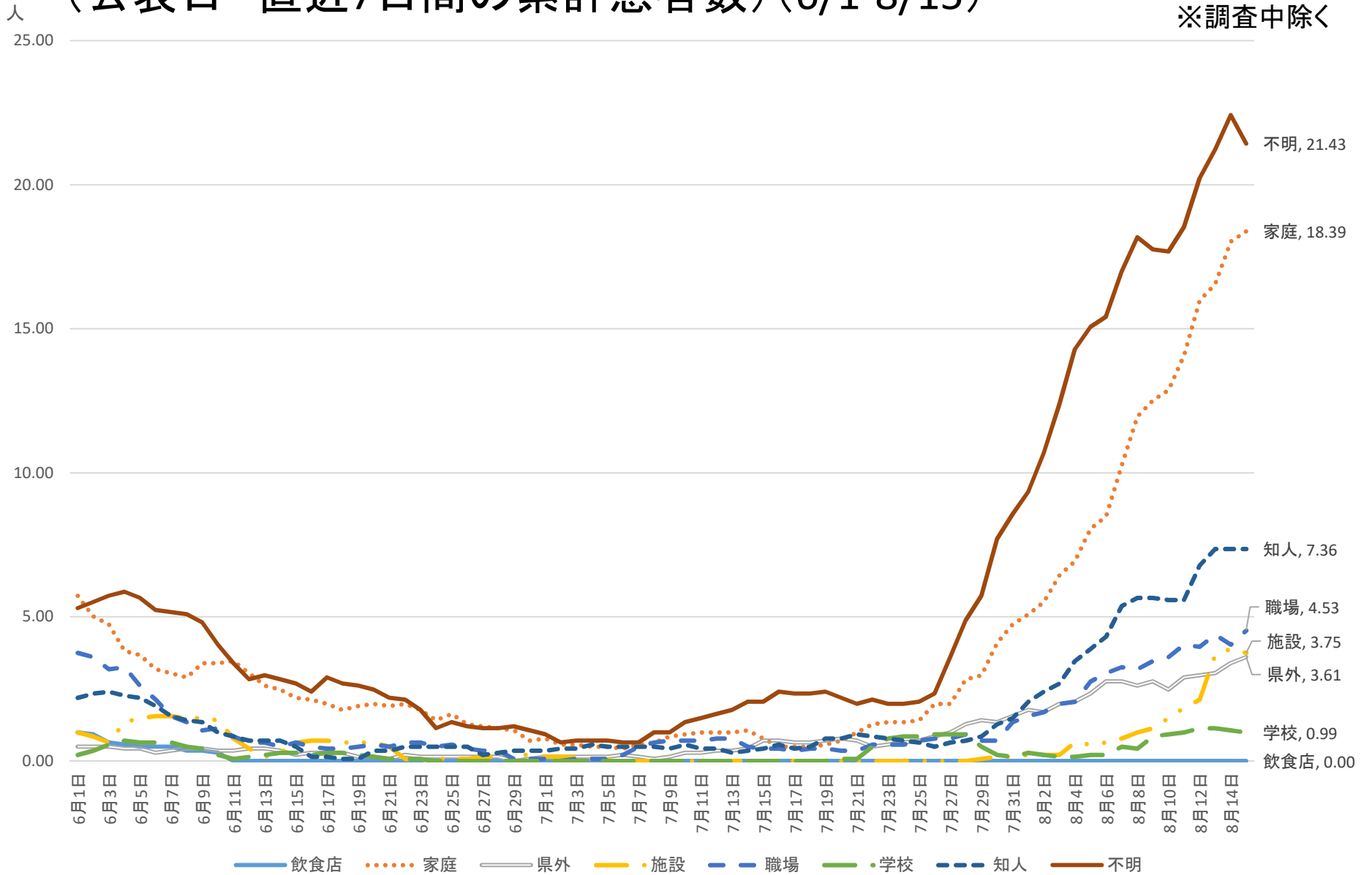
注)無症状者を計上していません。今後8/15以前に発症した患者が届出されることがあります。

滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (6/1~8/15別・公表日)



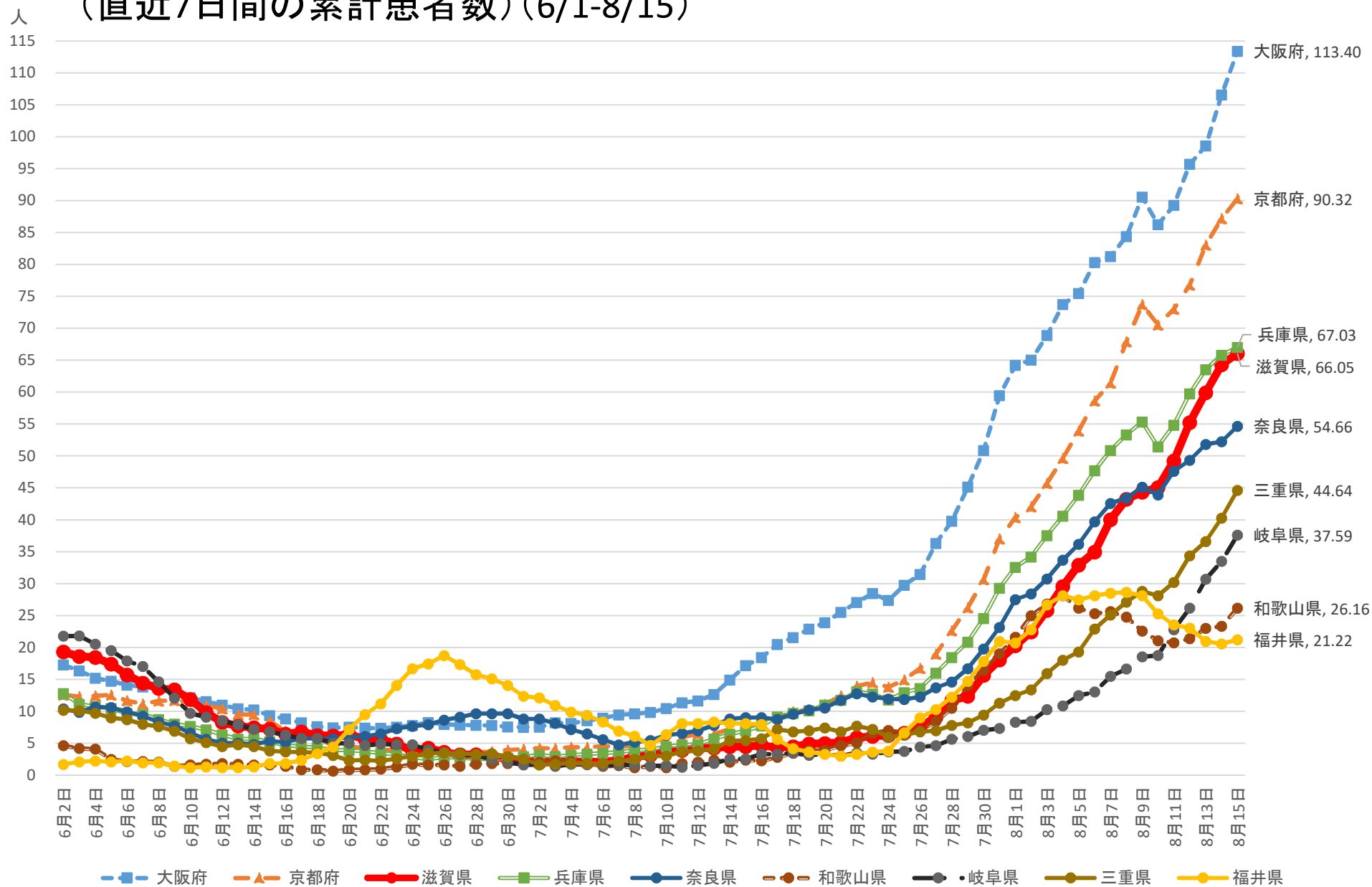
5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

(公表日 直近7日間の累計患者数)(6/1-8/15)



6) 近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(6/1-8/15)



2、県内の感染状況と体制について(8/15現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	374	315	299	16	59	677	361	355	6	167	149

2) 県内の陽性者発生状況

項目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中								
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数 (うち行政検査分 (うちその他検査分	122,844 38,478 84,366)	7,612 1,239	299	5	46	248	585	355	6,278	95	
抗原検査数	61,296										5,582
							(うち自宅待機 (うち自宅療養				

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

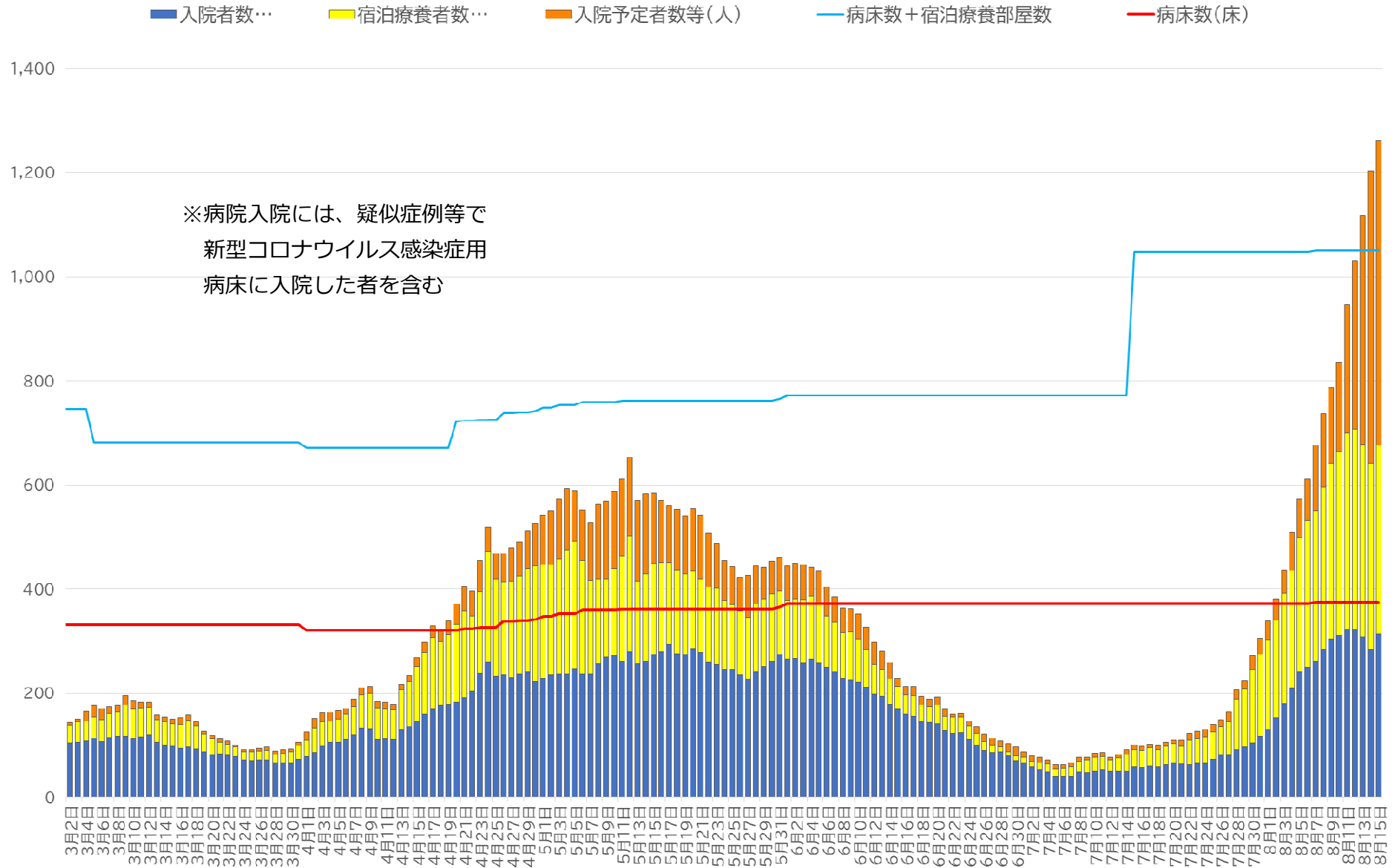
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

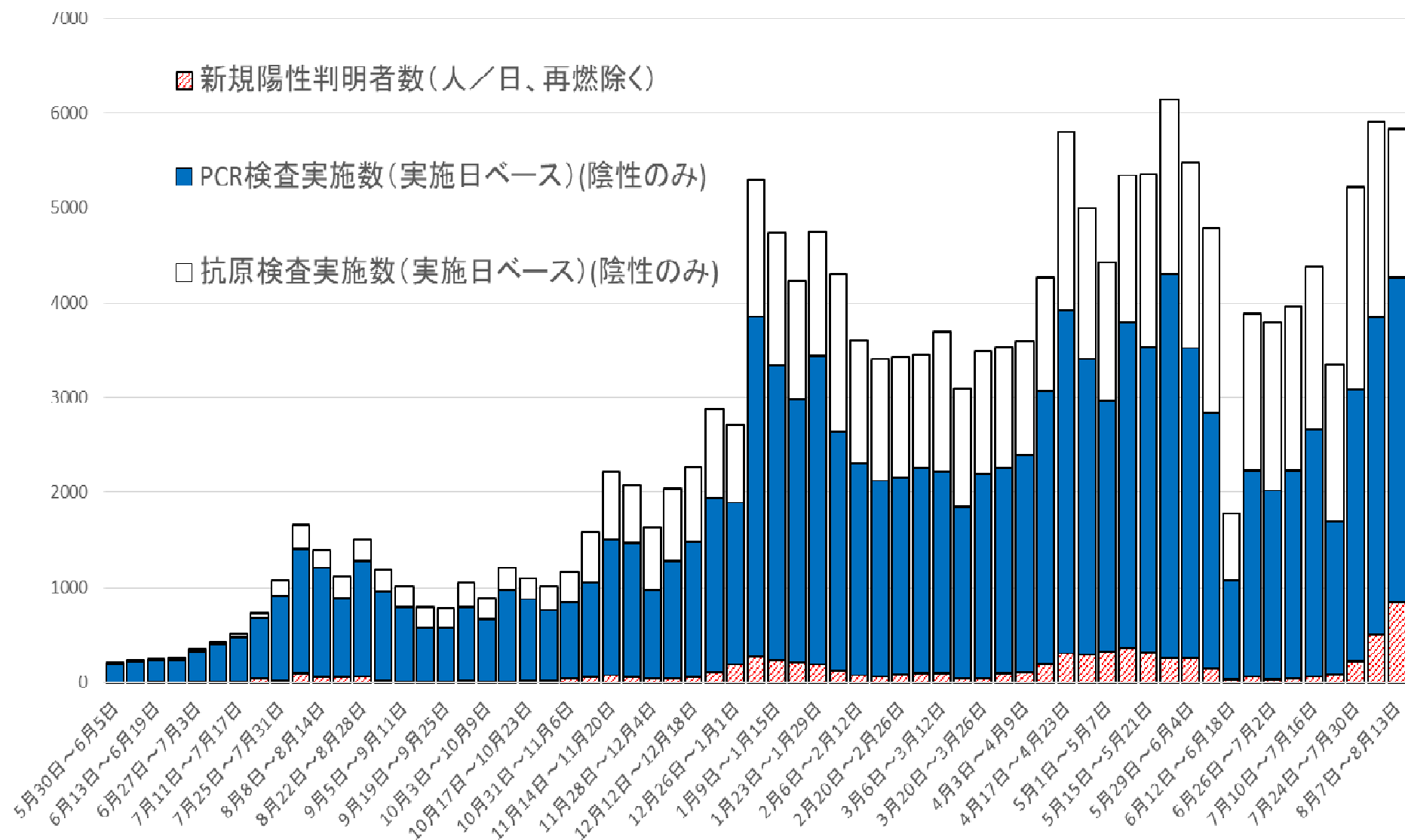
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

5人

3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



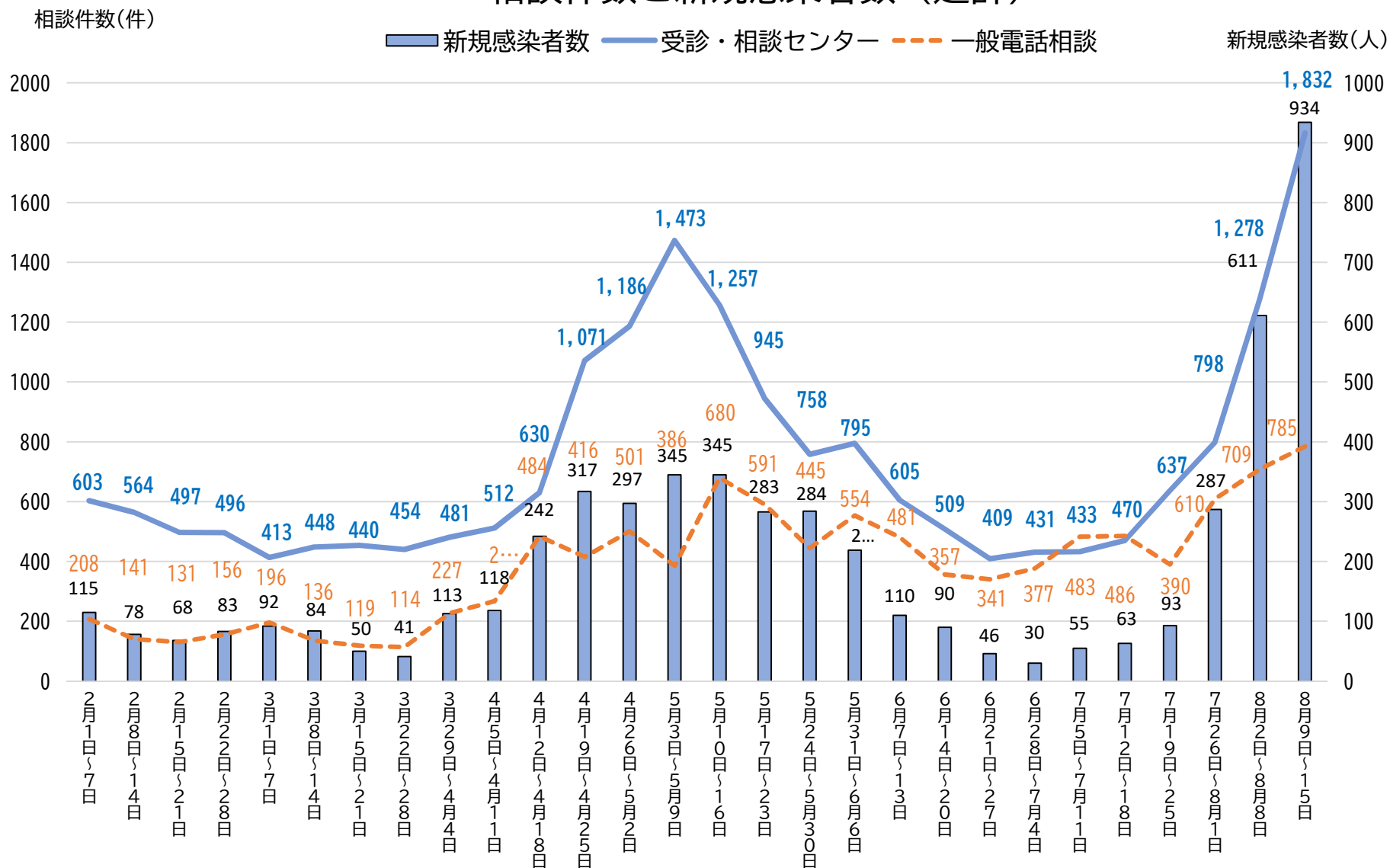
5)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、8月13日現在の陽性率は13.8%でした。

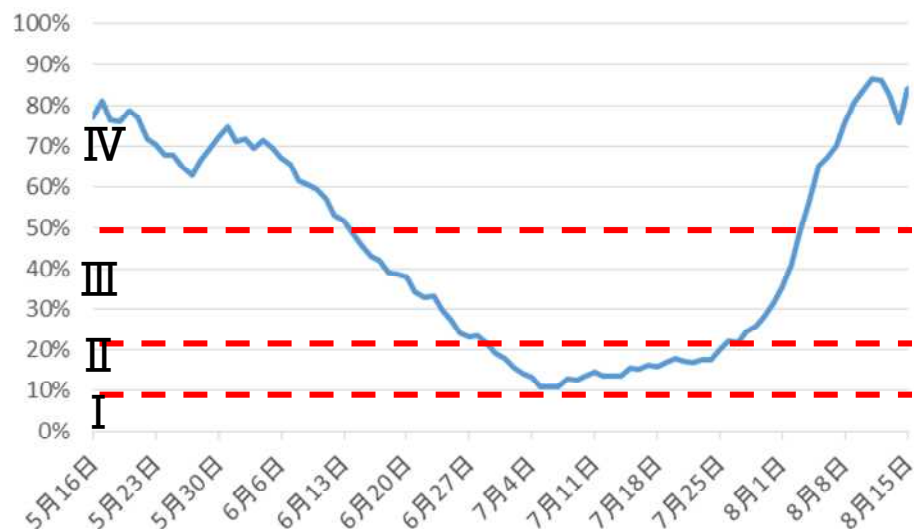
6)相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

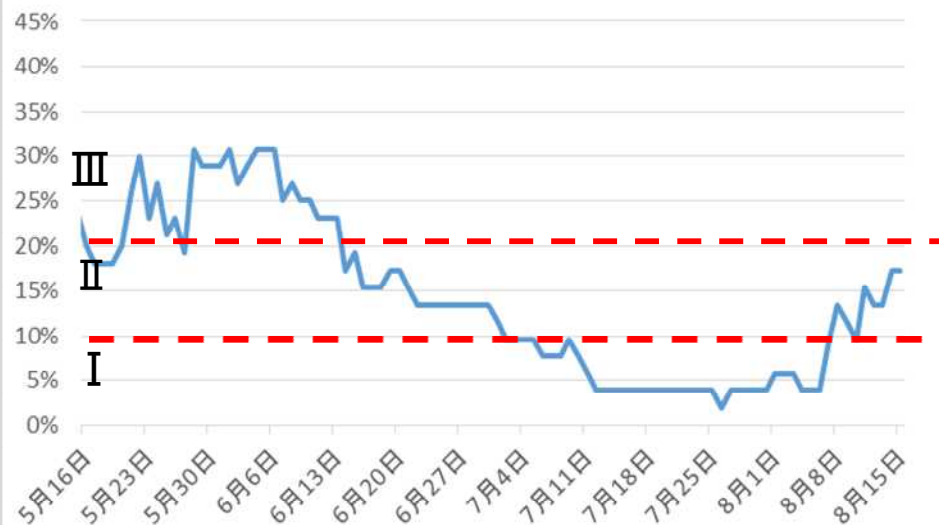


7)その他の県内の感染動向

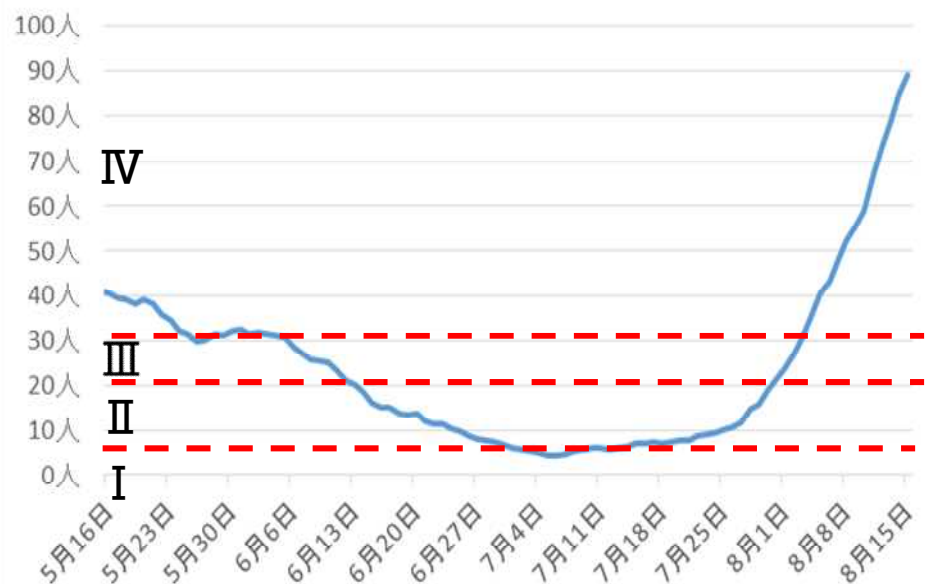
最大確保病床の占有率



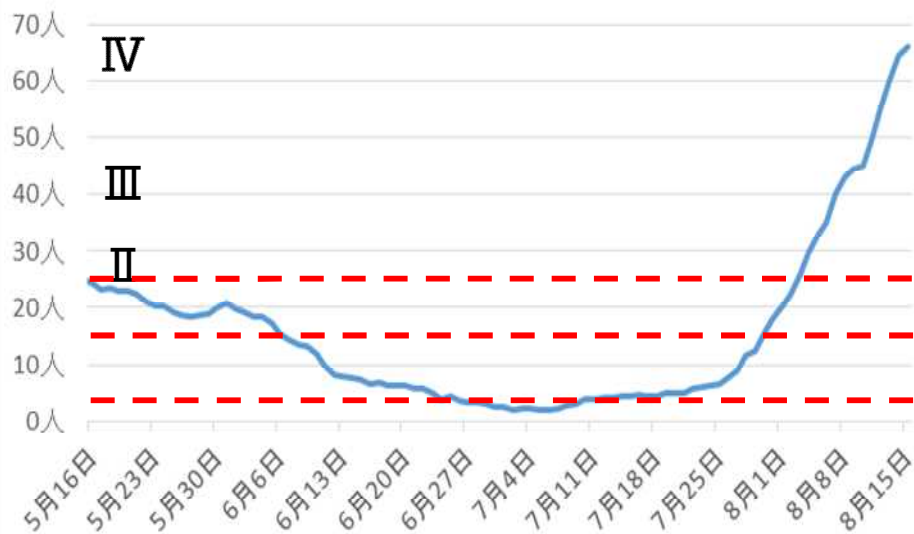
重症者用病床の最大確保病床の占有率



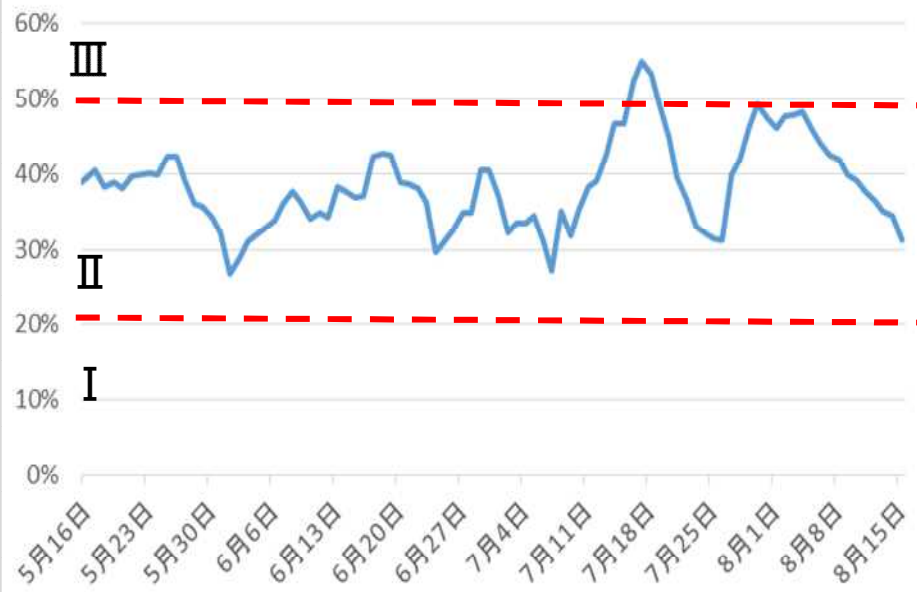
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



感染経路不明割合



評価(8/9～8/15の感染状況)

- 近隣府県を始め全国的に新規感染者数の過去最多、曜日別最多を更新する都道府県が多くあります。お盆による休診や悪天候による受診控えなども考えられるため、今後の動向に注意が必要です。
- 本県においても、連日、過去最多、曜日別最多を更新し、8月14日には最も多い179人となりました。すべての曜日で過去最多の新規陽性者数を更新し、週ごとの感染者数は、感染が落ち着いていた6週間前から30倍以上になりました。
- 8月6日にステージをステージⅣ（特別警戒ステージ）へ引き上げ、8月8日から本県へまん延防止等重点措置が適用されましたが、まだ十分な効果は見られていません。現在は病床がひっ迫している状況にあり、より強い対策を講じていく必要があります。
- 20歳代に併せて10歳代が顕著に増加しており、感染経路不明が多い状況が続いています。知人からの感染も増えており、夏休み・盆休みでの家族以外との接触の度合いの増加がうかがえます。また、帰省に伴う移動による感染者が、今後、診断される可能性があります。
- 夏休み期間中は、部活動、学童保育や学習塾等の時間が通常よりも長くなり、より感染対策が必要です。また、直近の新規陽性者においても多く認める知人・親戚宅での会食およびマスク着用なく車内で会話などの明らかなリスク行動を回避することによって、感染を予防することが可能です。
- 改めて、個人の対策および施設等における対策が基本に準じて適切に実施できていることを確認することが必要です。普段からの手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策の徹底が最も効果的であることを再認識してください。